

銭形平次捕物控発表九十年記念企画展

平次誕生の一年

— その男、
苦み走った好い男 —

野村胡堂が生涯で最も長く書き続けた作品

『銭形平次捕物控』。

この作品が誕生したのは、昭和6年の春。

新聞社での執筆や編集の仕事の傍ら

雑誌への小説や音楽評論の執筆で

多忙を極めている時期です。

今年、作品発表九十年を迎えるにあたり

平次が誕生した一年を辿りながら

胡堂が書いた捕物小説に迫ります。



昭和7年 書齋にて

令和3年6月15日[火] - 10月17日[日]
野村胡堂・あらえびす記念館

==== 関連事業 ====

銭形平次捕物控朗読会 ～金色の處女(こんじきのおとめ)～
9月5日(日) 予定 13:30～ 要予約

==== 展示解説 ====

6月27日、7月25日、8月29日、9月26日
いずれも日曜 13:30～ 予約不要

【主催】野村胡堂・あらえびす記念館 岩手県紫波郡紫波町彦部字暮坪193-1 TEL 019-676-6896 <http://kodo-araebisu.jp/>
開館9:00～16:30(入館は16:00まで)／一般 310円、小中高生 150円、団体割引有／毎週月曜休館(祝日の場合は翌日)
【後援】紫波町、紫波町教育委員会、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、盛岡タイムス社、IBC岩手放送、めんこいテレビ、テレビ岩手、
岩手朝日テレビ、(一社)日本作家クラブ、(公財)野村学芸財団、岩手堂子会

